

## 令和6年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和7年 4月 1日

団体所在地 東広島市黒瀬町南方1199-1  
団体の名称 麦わらぼうし  
職・氏名 代表 稲垣直登  
(施設名 麦わらぼうしこどもえん)

### 1 活動報告

#### 【4月～6月】(春季)

##### (活動内容)

- ・入園遠足（園児と家族揃って保育フィールドにしている里山を散策しお弁当を食べる）
- ・夏野菜の種まきや苗の植え付け
- ・潮干狩り（磯あそび）

#### 【7月～9月】(夏季)

##### (活動内容)

- ・水族館ごっこ（園全体を水族館に見立て様々な展示ブースやショーを企画し、保護者にお客様として来館してもらった）
- ・海水浴
- ・夏野菜の収穫と調理

#### 【10月～12月】(秋季)

##### (活動内容)

- ・くだもの狩り
- ・落花生の収穫と調理
- ・ジャングル探検ごっこ（園全体をジャングルに見立てた様々な作品で飾り、その中を探検して自分の一番好きな場所でお弁当を食べた）

#### 【1月～3月】(冬季)

##### (活動内容)

- ・餅つき
- ・卒園児一週間チャレンジ（家づくり、椅子づくり、池づくり、絵本づくり）
- ・卒園遠足（電車でGO!）

活動報告（詳細）

【4月～6月】

(写真)



(エピソード)

毎年恒例の磯遊びに出かける。  
砂浜に落ちている物を拾ったり、石をひっくり返してのぞいてみたり、日ごろ里山での保育で感じ取ることができない体験を楽しむ。  
(左の写真は、砂浜の中から水がどンドン湧き出しているのを発見し、「なぜ!？」を三人が意見を交換しながら推測しているところ)

【7月～9月】

(写真)



(エピソード)

土を使った遊びがブームとなる。  
2歳児から年長まで其々が、自分がいま出来ることのちょっと上を目指して、試行錯誤しながら自分の美学を追求していた。  
(土の種類や水の量、固めるための道具、型を取るための道具、自然物を見立てて使う)

【10月～12月】

(写真)



(エピソード)

木登りの再ブームが起こる。

夏休みが過ぎたあたりから、握力・手足の筋力が付いた来たらしく、これまで登ることのできなかつた木に挑戦する姿が印象的となる。

12月までには、年長の子全員が園庭にあるすべての木に登れるようになった。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード)

紙飛行機を作るのがブームとなり、日を迫うごとに作業工程が複雑な飛行機も折れるようになっていった。

同時に、より飛行時間を長く飛ばすことにも工夫をする姿も見受けられるようになる。

その後、「高いところから飛ばせばもっと遠くまで飛ばはずだよ！」との、子どもたちの提案により数日にわたって様々な場所に出かけて行く。

今年一年、“自ら作って遊ぶ！”を実践してきた事で、失敗から学び次への発想に繋ぐ事が自然と身についてきたと思われる。

## 2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）

- ・ 職員の資質向上について  
「こども学セミナー2024」を主催し、当園のスタッフのみならず他園の職員の方々にも講習を受けていただいた。
- ・ 地域との関わりについて  
地域の公立保育所や小学校、他市の幼稚園の子どもたちにも来園していただき交流を深めた。  
東広島市の公立保育所研修の一環で、公開保育と園代表の講演を行う。
- ・ 保護者との関わりについて  
月一回の保護者会を開催。  
保護者が主催する「子育て広場」で、外部の親子も交えて保育フィールド遊んでもらう。
- ・ その他

\*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

URL	
-----	--